

2023年1月23日
日本銀行福岡支店



Bank of Japan Fukuoka Branch

九州・沖縄の金融経済概況

(2023年1月)

当資料は当店ホームページに掲載しています <https://www3.boj.or.jp/fukuoka/>

<内容に関するお問い合わせ先> 日本銀行福岡支店営業課 Tel : 092-725-5513



1. 総論

○ 九州・沖縄の景気は、持ち直している。

最終需要の動向をみると、個人消費は、持ち直している。公共投資は、高水準で推移している。設備投資は、全体として増加している。住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。輸出は、持ち直している。

こうした中で、生産は、持ち直している。雇用・所得情勢をみると、全体として緩やかに改善している。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症や原材料価格等の上昇、海外の金融・経済動向、供給面の制約が、当地の経済金融情勢に与える影響等に留意する必要がある。

<景気判断の前回との比較>

項目		基調判断	
		前回	今回
景気全体		持ち直している。	持ち直している。
需要項目	個人消費	持ち直している。	持ち直している。
	住宅投資	横ばい圏内の動きとなっている。	横ばい圏内の動きとなっている。
	公共投資	高水準で推移している。	高水準で推移している。
	設備投資	全体として増加している。	全体として増加している。
	輸出	持ち直している。	持ち直している。
生産		持ち直している。	持ち直している。
雇用・所得		全体として緩やかに改善している。	全体として緩やかに改善している。

2. 個人消費

- 個人消費は、持ち直している。

▽個人消費関連の動向

非耐久消費財	百貨店売上高	持ち直している。
	スーパー売上高	底堅く推移している。
	コンビニエンスストア売上高	着実に持ち直している。
耐久消費財	家電販売	横ばい圏内で推移している。
	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)	低めの水準が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられている。
サービス	旅行・観光	持ち直している。

3. 住宅投資

- 住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

11月の新設住宅着工戸数は、持家の減少を主因に前年を下回った。

4. 公共投資

- 公共投資は、高水準で推移している。

12月の公共工事請負金額は、国発注分の減少を主因に前年を下回った。

5. 設備投資

- 設備投資は、全体として増加している。

11月の建築物着工床面積（民間非居住用、後方3か月移動平均）は、前年を下回った。

6. 輸出

- 輸出は、持ち直している。

12月の輸出額（九州経済圏）は、前年を上回った。

7. 生産

- 生産（鉱工業生産）は、持ち直している。

▽主要業種の生産動向

輸 送 機 械	自動車は、全体として持ち直している。船舶は、受注残の減少により、生産水準が低位で推移している。
電子部品・デバイス	高水準で推移しているものの、一部に弱含みの動きがみられる。
汎用・生産用 ・業務用機械	増加している。
化 学	減少している。
鉄鋼・非鉄金属	持ち直しのペースが鈍化している。
食 料 品	横ばい圏内の動きとなっている。

8. 雇用・所得

- 雇用・所得情勢をみると、全体として緩やかに改善している。

労働需給をみると、有効求人倍率は緩やかに改善している。

10月の雇用者所得総額は、現金給与総額の増加を主因に前年を上回った。

9. 物価

- 12月の消費者物価（九州地区、生鮮食品を除く総合）は、前年を上回った（12月：＋3.6%）。

10. 金融

- 11月の預金残高をみると、個人預金を中心に前年を上回った。
- 11月の貸出残高をみると、個人向けや法人向けを中心に前年を上回った。
- 12月の企業倒産をみると、件数・負債総額ともに前年を上回った。

以 上